

---

your love for me。 +°

門無 澪姫

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

your love for me。+

### 【Nコード】

N1543H

### 【作者名】

門無 澪姫

### 【あらすじ】

ちよつとわがままな蘭の気持ちを淡々と書いてます。いわゆる純愛ストーリー。もちろんカップリングは新蘭！もし良かったら、「our・future・is・forever」を読んでみてください！短編初心者なんで評価とかしてくれると嬉しいです！

**(前書き)**

もし良かったら、評価してください！

私のそばにずっといてほしい…  
私だけに微笑みかけてほしい…  
私だけの貴方になってほしい…

私はいつからこんなにわがままになったの？

待たされてたんだから…  
いつも貴方にそう言ってしまうそう。

だけどその気持ちを私は押し殺す…

貴方の輝く瞳に私の気持ちを看透かされそうで怖い…

こんなわがままな私を見透かされて貴方に嫌われるのが怖い…

気づいて欲しいけど気づかれたくない…

謎が解けたときの貴方のあの笑みがすごく好き。  
だけどそれは私だけのものじゃない。

貴方がみんなに求められてるのを見るのは誇らしい。  
けどそこには嫉妬深い私がいる。

そしてなによりもこんなわがままな自分が嫌い。

「蘭？どうした、そんな暗い顔して…。具合でも悪いのか？」

学校帰り、草野球の子供達の甲高い声で賑わう土手で貴方はそう言  
って私におでこを当ててきた。

この時間は私だけのもの…

ほら、また考えてしまう…

「な、なんでもないよ!」

「ちょっと顔赤いけど、熱はねえみてえだな」

「う、うん。」

やっぱり最近の私は、そんなことばかり考えてる。

考えずにはいられない。私のバカ…

私がそんなわがまま言ったら貴方が困るのが目に見える。

貴方を困らせたくない…

貴方に嫌われたくない…

だから私は気持ちを押し殺す…

「…ん！おい、蘭！」

「へっ？」

思わず私は素つ頓狂な声を漏らした…

「…」

貴方は私の顔を覗き込む。

「な、なに？」

私は今日もまた貴方に見透かされたくなくて必死の笑顔を作る。

でも名探偵の目はごまかせないみたい。

「なに無理してんだよ。」



「…別に無理なんかしてないよ？」

私は今日もまた嘘をつく。

私のために…

貴方のために…

私は今日もまた嘘をついたのだ。

貴方が好きだから…

なによりも大切だから…

かけがえのない存在だから…

だから…

「嘘ついてんじゃねえよ」

なんで？

貴方は私の心に住みついでるかのよつに…

名探偵だからなの？

だったら名探偵工藤新一としてじゃなくて、一人の人間として私の心に住みついでよ…

またわがまま…

「ねえ…新一…  
ずっとそばにいて欲しいって、私だけのものになって欲しいって、  
最近そんなことばかり私考えてるの…」

言ってしまった

貴方の顔が見れない…

困ってる顔が易に想像できるから…

きっと嫌われたらろうな…

こんなわがままな私に幻滅したらろうな…

仕方ないよね…

私のバカ…

「わがまま…」

やっほっほ…

そっだよね…

「わがままなお姫様……」

「へっ？」

二回目だ。最近は貴方に驚かされてばかり。

「でも……そんなおめえ……嫌いじゃねえぜ？」

ほんとと、どこまでも気障…

でも、そんな貴方…嫌いじゃないよ？

「私、こんなにわがままなのに…」

どうして怒らないの？

そん言おんじしてたのじ...

「知ってたよ、おめえがそん思っているじよ。」

なに言ってるの？



「言ってくれるの待ってたんだよ…」

やっぱり貴方にはかなわないみたい…

「私…新一のことが…」

「おめえのことが好きだ…」

また私の言いたいこと先に言っちゃうんだから。

大っ嫌い…

でも大好き…

「おめえのわがまま、全部叶えてやつから。俺はお前だけのものだから。」

いつまでもそばにいてね？

私の大好きな人…

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1543h/>

---

your love for me. +°

2010年12月4日18時45分発行